



たかずやの里通信

令和7年度 - 第3号 -

…発行日…
令和7年12月1日
…発行人…

児童養護施設 たかずやの里
伊那市東春近7000-8
TEL 0265-72-6456
FAX 0265-72-7607
ホームページ QRコード⇒
URL <https://www.takazuya.or.jp/>



ふれあいまつり

10月12日に第26回たかずやふれあいまつりが開催されました！

今年のテーマ

『感謝～すべての人にありがとう～』

子ども達全員がご来場いただいた皆様に、テーマである『ありがとう』という気持ちを込めて模擬店やあそびの広場などそれぞれの係を務めました。笑顔が溢れたお祭りでした。

来年も楽しいおまつりが開催できるようにしたいものです。

ご協力いただいた皆様、お越しくださった皆様、本当にありがとうございました。

今後ともよろしくお願いいたします。

パンコーナー



たかずやの里のキャラクター「たかずやさん」



全職員で合唱



準備の様子をご紹介します



遊びの広場：準備では子どもたちと一緒に景品のお菓子を詰めるなどの作業をしました。また、ヨーヨー200個に水を入れるのは大人4人がかりで苦戦しながらも、来てくれる子どもたちが楽しんでもらえるように心を込めて準備を進めました。



箸置きや花器を作りました。ゆがんだり裂けたりすることもありましたが、試行錯誤しながら一生懸命作りました。手作りの花瓶に綺麗に花を生け、お越しくださった方々に見ていただくことができました。



水溜りの水を掃き出し中…

多くの退園生が来てくれ、一緒にお祭りを作り上げました。率先して作業する子どもたちの姿が印象に残ります。準備の段階から、皆でお祭りを作り上げ、感謝を伝えていくという今年のお祭りのテーマが体現できていたと感じます。

「這えば立て、立てば歩めの親心」

昨年の秋、1歳3か月の子どものがやってきました。ハイハイをしたり、つかまり立ちをしたり、よちよちと歩く姿は、見るだけで心が和むものです。大人からすれば小さなスプーンですが口を思いきり大きく開けて、ご飯をモグモグと食べる様子も、とても愛らしいものでした。

それから一年。顔つきもしっかりとし、歩みもずいぶん力強くなりました。私たちの姿を見つけると、両手を広げて抱きついてくる…その姿も変わらず愛らしく、職員の心を温めてくれます。

ほんの小さな変化であっても、子どもの成長は、親にとって何より嬉しい宝物です。私たち職員にとっても、それは同じことです。

子どもらが安心して育ち、家族などの大切な人達との“つながり”を感じながら成長できるよう、これからも寄り添い続けていきたいと思えます。

施設長 菅 雄峰



お米づくり【秋編】

今年も元施設長の鹿野さんの田んぼをお借りして28袋のお米を収穫することができました。今年は天候が不安定な日が多く、お空とにらめっこしながら、晴れ間を見逃さず9月15日に稲刈りを、脱穀を10月13日に行うことができました。



稲刈り

刈り取りから”はぞ”かけ、脱穀まで、大勢の子どもと職員が、互いに声をかけあって和やかに作業することができました。今の時代コンバインで収穫することが多いのですが、こうした手作業による稲刈りや脱穀作業は、子どもはもとより、若い職員にとっても体験が少なく、高騰しているお米のありがたさを身をもって感じる事ができる貴重な体験となりました。

脱穀



たんぼぼの家の生活

たんぼぼユニットは、2歳～小学2年生までが生活をしているユニットです。体を動かして遊ぶことが大好きな子どもたちで、外遊びではサッカーをしたり虫捕りをしたりと毎日元気よく遊んで過ごしています。

食事では好き嫌いが少なく、どんなメニューでも「おいしい!」と食べてくれる優しくとっても可愛い子どもたちです!!夏には魚釣りをしたり、デイキャンプをして自然の中で様々な経験を楽しみました。



みんなでお誕生日会 ↓



お魚さん逃げないでね... ↑



交流館

たかずやの里の施設内にある「たかずやの里 交流館」では、子どもたちが身体を動かして楽しく遊ぶだけでなく、健康トレーニングや剣道、フラダンスなどいろいろなグループに所属する地域の皆さんにもご利用いただいております。

お気軽にお問い合わせください。

たかずやの里交流館



←こちらは太極拳教室「蒼空」さんの様子です。月4回 13名で活動されております。

ほのぼの～2オさんとLOVO T

LOVO Tのしゃんぎくは、充電が切れそうになると自分で充電器に向かいます。えらい!



自分も充電されるのか?! 座ってみた!



その様子を見ていた 2オさん



でもはんかちがたみたいでした。

